



学校運営協議会便り

令和 6 年 5 月 3 0 日

学校運営協議会

会長
下大利小学校校長

前田 誠一

岡山 昌司

学校の教育目標

**郷土を愛し、共にたくましく
生きていく子どもの育成**

学校・家庭・地域の共育目標

**地域・家庭・学校が協働した、子どもの
「思いやりの心」を育てる校区づくり**

【三者でめざす子ども像】

- 地域や学校のきまりを
守ることができる子
- まわりの人に進んで
挨拶することができる子
- 地域の行事に進んで
参画する子

5月17日（金）15時00分より本校第2会議室にて、令和6年度第1回学校運営協議会を行いました。お忙しい中、委員の皆様にお越し頂き、学校・家庭・地域でともにめざす子どもの姿（共育目標）について確認するとともに一年間の具体的な計画について協議しました。

まず、令和6年度の下大利小学校学校運営協議会委員の皆様をご紹介します。



【第1回学校運営協議の様子】

立石 泰之様	筑紫女学園大学 准教授	久我 洋代様	ランドセルクラブコーディネーター
前田 誠一様	学校運営協議会会長・下大利団地区長	松岡 真彦様	市教育委員会教育振興課課長
中西 俊章様	学校運営協議会副会長・東大利副区長	木村亜由美 様	こゆ保育園園長
村田 柳子様	民生委員児童委員	村岡 陽子 様	大利中学校教頭
小野 智萬様	読み聞かせボランティア	岡山 昌司	校長
小野 誠様	P T A 副会長	秋山 三奈子	教頭
阿部さやか様	P T A 副会長	宇戸 勝則	主幹教諭
川畑 佳織様	きらりネット委員長		

【第1回 協議内容】

○令和5年度学校経営について

はじめに校長より、本年度の学校経営の重点を中心に学校経営要綱の説明がありました。「たくましい子ども」を目指して、『あきらめない自分』『共にチャレンジ』をキーワードにした具体的な取組について説明がありました。

本校の教育目標

郷土を愛し、共にたくましく生きていく子どもの育成

本年度の重点目標

「Challenge! ～「あきらめない自分」で最後までチャレンジ～」

さらに、本年度は、1～4年水泳学習の民間委託やタブレットの持ち帰りによる家庭学習について、説明がありました。

○本年度の下大利小学校学校運営協議会の取組について

まず、教頭より、学校運営協議会の目的を確認しました。第1条（学校運営協議会規則）「学校、地域の住民及び保護者等による連携及び共働を推進し、もって学校が掲げる教育目標の実現に資することを目的とする。」と示されていることを確認しました。

次に、本年度の具体的な取組みについて、2点から説明を行いました。

取組①

豊かな体験活動の充実

取組②

称賛の場づくり

これら2つの取組について、学校、家庭、地域それぞれで取り組んだり、ともに協働して行ったりすることで、共育目標「思いやりの心を育てる校区づくり」をめざしていくことを確認しました。

本年度の計画は、以下に示すとおりです。

第1回 5/17	・本年度の年間計画
第2回 9月中旬	・前期学校評価 ・「OBC いじめをなくそう！子どもサミット」について ・熟議のテーマ「(仮) 豊かな体験活動となる取組」
第3回 12月中旬	・2学期の行事等について ・熟議のテーマ「(仮) 取り組んだ豊かな体験活動の成果と課題、今後の取組」
第4回 2月中旬	・本年度の成果と来年度に向けた改善点や方向性について

○きらりネット事務局の活動について

きらりネット委員長より、第1回目のきらりネット事務局の開催を予定していることや子どもたちの学習を充実させるためのボランティアを、今後募集していくことについて説明がありました。

○下大利小学校いじめ防止基本方針について

教頭より、以下に示すような、下大利小学校のいじめに対する基本的な考え方を確認しました。

○いじめは、「人間として絶対に許されるものではない」という強い認識を持つ。

○いじめは、「どの学校、どの学級、どの子にも起こりうる」という危機意識を持つ。

○いじめ発見の際は、「いじめられている子を最後まで守り抜く」という信念を持つ。

学校運営協議会が“いじめ防止対策委員会”となることから、今後いじめに関する報告を行うことや重大事案が起こった際には臨時的に会議を招集することを確認しました。

○通学路安全点検について

昨年度の通学路の安全を守るための取組を報告するとともに、現在の危険箇所に関する情報提供の依頼をしました。今後、1学期中に皆様のご意見をまとめて、報告書を市役所に提出する予定です。

【地域・保護者からの感想】

○今後、子どもたちが楽しめる地域行事を充実させていきたい。公民館へもっと遊びに来てほしい。(東大利副区長)

○地域の方やボランティアの来られた方からもきらりカードを書いてもらえるようにして、子どもたちをたくさん褒めていきたい。(きらりネット委員長)

○地域が、子どもたちにとってとてもよい環境にある。今後は、子どもたちから地域へ働きかけてほしい。(民生委員児童委員)

○小中の連携を大切にして、中学1年生のスタートがスムーズにできるようにしていきたい。(大利中校長)

○ランドセルクラブでも、学校が取り組んでいるように体験活動を大切にしていきたい。(ランドセルクラブコーディネーター)

貴重なご感想、ご意見ありがとうございました。

【立石先生からのご指導・ご助言】

・日本の子どもたちは、世界の中で自己肯定感が低いと言われている。その自己肯定感を高める取組が、下大利小学校にはある。

・学校運営協議会の取組として、「称賛の場づくり」があり、自分を認めてもらったという経験を大切にされているところがいい。

・地域の方が褒めることができるような場を設定し、点ではなく、線で褒める、成長した姿で褒めてほしい。

価値付けをしていただき、ありがとうございました。

